



決勝レポート

2011/6/5 Rd-2 AUTOPOLIS

天候：雨のち曇り 気温：19℃ 出走台数：16台

観客数：4日(土)9,116人 5日(日)13,030人

昨夜未明から阿蘇の山々に降り続いた雨は、早朝から強雨となる。そんな中スタートしたフリー走行で、共にトップ3のタイムを記録しながら決勝戦略のベースとなるデータ収集と確認を行った2台だが、49秒台に入った伊沢選手は雨に足をすくわれスピン、大きく車を破損してしまう。

午後になり雨脚は弱まり、コースは所々で乾き始めるが、全車ウェットタイヤを選択し迎えた緊迫のスタート。ポールポジションからスタートの塚越選手はややホイールスピンで動き出しが鈍かったか、1コーナーでは3位までドロップするがアグレッシブなドライブですぐに首位を取り戻す。チームの懸命の修復で何とかスタートに間に合った伊沢選手は、危なげないスタートを決めた。ここからレースはめまぐるしく動く、スタート直後の1周目に2位スタート大嶋選手と13位スタートの中嶋選手ら4台がピットインしドライタイヤへ交換、その翌周にも3台がドライへ交換。チームは路面状況の変化からドライが有利と判断し塚越選手を3周目に、伊沢選手を4周目にピットインさせ、タイヤをドライへ交換した。塚越選手7番手、伊沢選手11番手でコースに戻り、ここから燃費走行、タイヤマネジメントに細心の注意を払いながらのレースバトルという難しい追い上げが始まる。

両ドライバー共に、コースの随所で最後まで激しい攻防を続けるが、塚越選手は僅か0.7秒届かず3位、伊沢選手6位でフィニッシュ。2台揃ってポイントを加点しレースを終えた。

40：伊沢 選手 6位

朝のフリー走行で車を大破させてしまい、それでも完璧に車を修復しスタートグリッドへ送り出してくれたチームにとっても感謝しています。決勝用セットアップはバランス良く、コーナースピードは高かったのですが、ストレートで速度が伸びず、パスするのに時間がかかってしまいました。最低限だけど、今後重要になるポイントを加算できた事は良かったです。予選からの検証を十分に行い、良い流れを持って富士に臨みたいです。

41：塚越 選手 3位

雨の中でも調子よく、自信を持ってスタートグリッドに向かいました。スタートでは少し出遅れましたが、すぐに首位に戻ることができましたし、好調だっただけに3位は満足できません。路面コンディションを確認して3周目にピットインをしましたが、首位を走行しているのでリスクを取れず、かつ燃費やタイヤをマネジメントしながらのレース展開でしたので、トップ集団に追付くのに時間がかかってしまいました。

予選トップという通過点をクリアできましたから、優勝は必ず出来ます。チームと一丸で最善を尽くすのみです。